

6月23日

税の大切さ学ぶ 租税教室

町内4小学校の6年生を対象に、納められた税金がどのように使われているかを学ぶ「租税教室」が行われています。

下宮小学校には役場税務課職員が講師として出向き、消費税などの事例から税金の仕組みを説明。授業の後半には“税金がなくなった世界”をテーマにしたDVDを鑑賞しました。

授業を終え、児童は「税金を納めることが、みんなの社会を支えることに繋がるのがわかった」と感想を話してくれました。



6月30日

社会を明るくする運動 メッセージ伝達式



7月は、社会を明るくする運動の全国強調月間です。運動の一環として、大垣保護区保護司会らによる内閣総理大臣・岐阜県知事メッセージ伝達式が行われました。

今年で第72回を迎えた社会を明るくする運動は、犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせて安全で安心な明るい社会を築くための全国的な運動です。谷村町長はメッセージの伝達を受け、地域一体となって青少年の健全育成などに努めることを約束しました。

7月7日

FC岐阜 小山新選手 等身大パネルを役場庁舎に設置

FC岐阜所属・神戸町のホームタウン応援大使の小山新選手が役場を訪問され、小山選手自身の等身大パネルを本庁舎正面玄関ロビーに設置いただきました。FC岐阜応援大使を知っていただくとともに、ファン・サポーターが実際に市町村を訪れることで観光の活性化に繋げることを目的とし、県内全市町村に設置を進めています。長身の小山選手そのままの、迫力あるパネルが皆さんをお待ちしています。ご来庁の際はぜひ記念に写真を撮っててください！



7月11日

大きくて甘い！ 下宮ばら教室でスイカ収穫

下宮区の皆さんが指導者となり、地域の小学生に様々な体験の場を提供する「下宮ばら教室」でスイカの収穫体験が行われ、児童28名が参加しました。

スイカは教室に参加する児童が5月に苗を植えたもので、地域の方たちが肥料を与えるなどの世話をして大切に育ててきました。この日に収穫した10玉を指導者が切り分けて配ると、子どもたちは甘いスイカに表情をほころばせていました。参加した児童は「大きくて抱えるのが大変だったけど、とてもおいしかった」と話してくれました。



7月11日

小学生が神戸浄化センター見学



下宮小学校4年生の児童23名が、社会科の学習の一環として、生活排水・汚水をきれいな水に戻す施設である浄化センターを訪れ、神戸町の下水道について学びました。

児童は、微生物が汚れた水をきれいにする反応タンク設備などを見学し、センターの職員から「最後は川に流せるきれいな水になります」という説明を受けると驚いていました。



7月19日

西美濃農業協同組合と 地産地消に関する協定を締結

神戸町と西美濃農業協同組合は「地域の食と農をつなぐ地産地消に関する協定」を締結しました。

この協定は地産地消を促進することを目的とし、地域農産物のPR・販売促進・食育推進などについて連携して協力することとしています。

協定の締結にあたり小林徹代表理事組合長は「地産地消の推進が、地域や農業者の活性化につながる。これまで以上に連携していきたい」と話され、藤井町長は「協定に掲げられた地域農産物のPRや販売促進について、タッグを組んで進めていきたい」と話しました。

